

ai no kaze

# あいのがせ

36

2013年 秋号



## 結婚、いつするの？

独身男女5人で座談会

男女共同参画推進センターだより

## 結婚のカタチ

2組のご夫婦にインタビュー

男女共同参画とやま 市民フェスティバル2013

# 結婚、いつするの？



近年、未婚化・晩婚化が全国的に進んでいます。  
富山に住んでいる若い人たちは、この傾向をどう捉えているのでしょうか。  
今回は、大学生を含めた20代から30代の独身男女5名に参加してもらい、「結婚」についてお話を伺いました。

右から  
A：会社員(30代男性)  
B：大学生(20代男性)  
C：看護師(20代女性)  
D：会社員(20代女性)  
E：大学生(20代女性)  
本文中の  
編：あいのかぜ編集委員



## 結婚に興味は？ いつまでに結婚したいですか？

- 一同 興味あります！
- A 仕事も安定してきたし、35歳くらいには結婚したいです。同年代の女性はほとんど結婚していますし、出会いがあれば…。
  - B 就職して安定したらということで、25歳くらいには。今、大学生ですけど、結婚したいと思う人とだけ付き合いたいですね。僕の理想は両親です。大学時代に知り合い、遠距離恋愛に負けないで結婚したと聞いています。
  - C 仕事が落ち着いてきたら、しばらくはプライベートを充実させて、結婚は27、28歳ぐらいですかね。職場でも結婚している人が半数以上です。
  - D 周りがまだなので、結婚は少し先のイメージ。できたら28歳ぐらいにしたいです。
  - E 興味はありますが、まだ学生なので、結婚はもう少し自立できるようになってからのつもりです。



## 未婚化・晩婚化、少子化の原因について、どう考えますか？

- A 大学等への進学率の上昇も一因でしょうか。それに伴って就職時期が遅くなって、金銭面の不安から、早期の結婚は難しくなるんじゃないかな。僕自身、将来的に子どもの教育費などの面に不安があります。
- B 女性の社会進出と関連があるように思います。自立した女性が増えていますよね。女性の社会進出によって、子どもが仕事の妨げになると考える家庭もあって、少子化が進むのではないかと思います。
- C 私も、やっぱり自立した女性が増えているからだと思います。
- D 都会へ進学する若者が多いからかも…。
- E 私は、これから就職して結婚しても、仕事は続けていきたいと考えています。やはり仕事をやめたくないと思う女性が増えて、晩婚化が進んでいるのではと感じます。子どもをたくさん産んで育てるのは経済的に難しいのかな。
- A 共働き率が高いと、出生率が高くなる傾向があるという話を聞いたことがあります。やっぱり金銭面で余裕があると、子どもを産んでも安心感がありますよね。

## 普段の生活で出会いはありますか？

- 編 大学生はたくさん出会いがありますよね？
- BE いや…意外とないですね(笑)。
- B 同じ大学生でも積極的に活動している人は出会いがあると思いますけど。
- E 同じサークルやアルバイト先の人と付き合っている人が多いですね。
- C 私は職場が女性ばかりなので、合コンや紹介かな。
- D 職場での出会いはないですね。社会人サークルでの出会いや、昔からの知り合いと繋がる場合ぐらいかな。
- 編 最近ではFacebookなどのSNS\*を利用した出会いもあるようですが。
- D 私もSNSを利用していますが、知り合いとしか繋がらないかな。
- C でも私の友達で、SNSがきっかけで結婚した人もいますよ。
- 一同 ええー！

- A SNSのコミュニティ(同じ趣味を持ったSNS内でのグループ)での出会いも増えているんです。山コン、街コン、ドラコンなどのパーティー企画もたくさんありますよ。
- 一同 ドラコンなんて初めて聞いた！
- A いわゆるドライブコンパです。一緒にドライブしてお話しようという活動です。
- 編 それが新しい出会いの形なんですね。そのような活動に参加するということは、普段の生活では出会いはないということですか？
- A そうですね。職場と自宅の往復ばかりになってしまいますからね。
- B でもSNSでの出会いってどうなんだろう…。僕は直に出会った人と関係を築きたいな。
- A 結局、結婚は「人」が大事。僕はどんな出会い方でも気にしないですね。
- 編 最近はお見合い結婚も減っていますよね。今は周りからのプレッシャーも少なくなって自由になっている分、出会うことも難しいのかもしれないですね。

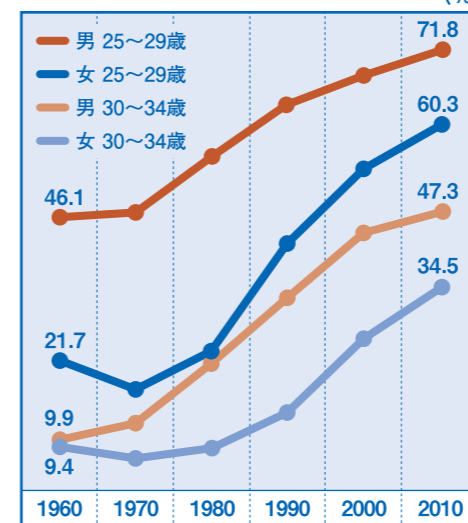
\*SNS ソーシャルネットワーキングサービス(Social Networking Service)インターネット上で人と人の繋がりを促進・サポートするコミュニティ型のWebサイト。知人間でのコミュニケーションを円滑にしたり、新たな人間関係を構築したりする場として用いられる。

## ●18～34歳の未婚者で結婚意思を持つ者が未婚にとどまる理由(上位3位まで)

|        | 男性                      | 女性                       |
|--------|-------------------------|--------------------------|
| 18～24歳 | 1位 まだ若すぎる(47.3%)        | 1位 まだ若すぎる(41.6%)         |
|        | 2位 まだ必要性を感じない(38.5%)    | 2位 まだ必要性を感じない(40.7%)     |
|        | 3位 仕事(学業)にうちこみたい(35.4%) | 3位 仕事(学業)にうちこみたい(39.4%)  |
| 25～34歳 | 1位 適当な相手にめぐり会わない(46.2%) | 1位 適当な相手にめぐり会わない(51.3%)  |
|        | 2位 まだ必要性を感じない(31.2%)    | 2位 自由さ・気楽さを失いたくない(31.1%) |
|        | 3位 結婚資金が足りない(30.3%)     | 3位 まだ必要性を感じない(30.4%)     |

(資料)国立社会保障人口問題研究所「出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)」

## ●未婚率の推移(全国)



(資料)総務省統計局「国勢調査」



## ●夫婦が出会ったきっかけ(2010年)

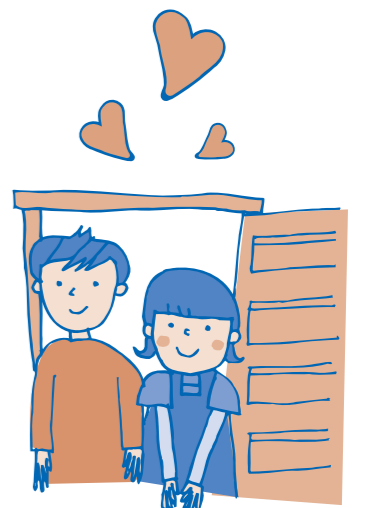
- 友人・兄弟姉妹を通じて……29.7%
- 職場や仕事で……29.3%
- 学校で……11.9%
- サークル・クラブ習いごとで……5.5%
- 見合い結婚……5.2%

(注)対象は調査時点より過去5年間に結婚した初婚どうしの夫婦  
(資料)国立社会保障人口問題研究所「出生動向基本調査(結婚と出産に関する全国調査)」

## ●合計特殊出生率

|     | 1985年 | 2011年 |
|-----|-------|-------|
| 富山市 | 1.74  | 1.40  |
| 富山県 | 1.79  | 1.37  |
| 全国  | 1.76  | 1.39  |

(資料)厚生労働省人口動態統計・富山市情報統計課





結婚後の仕事と家庭の両立について、  
どんなふうに考えますか？

編 妻には家庭に入ってほしい？

A 相手次第かな。お互いのライフスタイルを臨機応変に考えることが重要だと思います。

B 相手次第だけど、子どものことを考えると共働きはどうなのかと考えてしまいます。男性が育児休暇を取っている企業も増えているみたいですし、自分は絶対育児休暇を取りたいと思っています。

編 今イクメン、カジダンが流行っていますが。

B そうなっても、全然苦ではないですね。

CDE そういう発言、嬉しいですねー。

C 私は、今の仕事にやりがいを感じているので、子どもを産んでからも仕事を続けたいです。でも、子どもを一人で家に残しておきたくないの、子育てには親の協力も必要になってくるのかなと思います。

それと、私の職場では育児休暇制度や育児短時間勤務制度があるので、自分のライフスタイルに合わせて、それらの制度を利用したいと思います。

D 私も働きたいですね。親や自分たちの老後も考えて備えておきたいと思っています。

E 就職する時は、子育てしやすい会社に勤めたいです。将来何が起きるか分からないし、自分で生きていけるようにしておきたいとも思っています。

編 内閣府の調査では、20代女性の専業主婦志向が高まっている傾向にありますか？

B 大学生にそういう人は、あまりいないですね。大学を出たからには、それを生かして働きたいという意思が強いのではと感じています。



Aさん(会社員)



Cさん(看護師)



Bさん(大学生)



A 今の若者は危機感が強いと思います。年金、終身雇用についても厳しく捉えていますよね。家庭に入りたいと言う女性は周りに少ない気がします。

編 結婚して退職するのが当たり前だった時代に比べて、子どもを持って女性が職場にとどまったり、復帰したりする環境が整ってきたのかもかもしれませんね。

結婚相手に何を望みますか？

E 相手との結びつきを大切にしたいです。結婚したら、相手を支えたいし、支えられたい。友達や家族と一緒に、結婚相手は私にとってとても大切な存在です。人と関わることで色々な出会いが生まれるだろうと感じます。その出会いを大事にしていきたいなあ。パートナー同士、お互い我慢はやっぱり必要なと思います。

D 結婚相手は人として尊敬でき、頼れる人がいいなと思います。子育てにも協力してほしいですね。本当の自分を見せても大丈夫かという不安はありますが、実際に経験してみないと分からないことはたくさんあります。私は人と関わるのが好きだし、何よりもそれは自分が成長できる時だと思っています。結婚もそうならいいな。

C 家族を大事にする人、自分を分かってくれる人がいいですね。結婚と恋愛は別だなと感じます。やはり結婚にお金は必要ですが、一番は思いやりの心を持つことが大切。相手の話をちゃんと聞いてあげるよう心掛けたいです。



Eさん(大学生)



Dさん(会社員)



B 自分のことばかりでなく、家族のことを考えてほしいと思います。自分でも家庭内で仕事等のストレスコントロールを上手にできるかどうかという点は不安です。僕にとって家族、特に父親はとても偉大な存在です。父から家族を守るために働くという姿勢を学びました。そんな存在になりたいですね。

A 僕は我慢すぎないことも大切じゃないかなと思います。本当に嫌なことがあればお互い許容して、折り合いをつける関係を維持することが大事。子どもに文句を言わない関係を二人で築くのも重要じゃないかな。結婚すると、仕事をする目的も変わってくるのでは。「自分」をしっかり持った上で、家族となる人を大事にしていきたいです。



男女共同参画推進センターだより

ワーク・ライフ・バランス実践セミナーを開催しました！

8月10日(土)に、とやま市民交流館学習室において、ワーク・ライフ・バランス実践セミナー「『片付け力』アップ！ラクラク整理収納教室」を開催しました。91名の参加者は、モノとココロをスッキリさせようと、講師の整理収納アドバイザー・浮田美紀子さんのお話に耳を傾けました。



今回お話を伺うと、皆さん結婚に積極的で、将来をしっかりと見据えているように感じました。さらに、出会いの形が多様化していること、結婚後も働き続けたいと考える女性が多いことも改めて分かりました。

結婚は、相手、家族、地域、社会など、さまざまな新しいつながりを生みます。そのつながりを大切にし、お互いを思いやりながら良い関係を築いていくことが結婚なのだと思います。今回の座談会で、そんな想いを大切に考える若者の心強い姿を見ることができました。

素敵なこの街で、より多くの幸せがこれからも増えていけばいいですね。

男女共同参画講座  
「父子笑伝～父から子へ伝えたいものがある～」を開催します。

父親が笑顔で人生を楽しんでいる姿を子どもたちに見せることの大切さを、一緒に考えましょう。

日時 11月3日(日) 14時～15時30分  
場所 とやま市民交流館 学習室1(CiCビル3階)  
講師 荒巻 仁さん NPO法人ノボリジャングル 理事長

受講料無料、お申し込みは10月28日(月)までに男女共同参画推進センターへ。  
定員(50人)になり次第締め切ります。  
無料駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。

〒930-0002 富山市新富町一丁目2-3 CiCビル3階  
Tel.(076)433-1760 Fax.(076)433-1761  
E-mail suishin-01@city.toyama.lg.jp



# 「結婚のカタチ」

浦野 将史さん(26歳)、美里さん(27歳)



会社員のご主人と、看護師の奥様。現在は、富山市内で2人暮らし。(写真は新婚旅行で撮影したもの)

## 結婚したのはいつですか?

**美里さん** 2年前の私の誕生日に籍を入れました。

## 結婚に至るまでのエピソードを教えてください

**将史さん** 同僚からの紹介で知り合いました。最初はメールでやりとりをしていましたが、そのうちに二人で会うことになり、出会って1か月ぐらいたった頃、妻の両親の旅行に誘われました。初めて妻の両親に会ったのですが、不思議と緊張することもなく、とても心地良く過ごすことができました。この時をきっかけに、結婚を少し意識するようになりました。

**美里さん** 私は、初めて出会った時から、結婚するならこんな感じの人がいいなと、なんとなく思っていました。付き合って1年ぐら経ってから、二人で具体的な結婚の話をするようになりました。

## 結婚後のお二人の生活は?

**将史さん** 結婚後に勤務地が変わり、朝の出勤時間が早くなりました。忙しくて帰るのも夜10時前後になり、休日も仕事に行くことがよくあります。妻には申し訳ないですが、平日の家事は、ほとんど妻にまかせています。

**美里さん** 結婚後も看護師として、私も独身の時と同じような勤務体制で働いていて、夜勤もあります。家事分担は特に決めず、できる方がするという感じです。平日は夫は忙しいので、私が主に家事をやっていますが、私が勤務で夫が休みの時は、夕飯を作って待っていてくれることもあります。

## 結婚して良かったと思うことは?

**将史さん** 仕事で疲れて帰ってきても、手作りの料理を作って待っていてくれること、遅く帰宅しても一緒にいられることです。また休日が合うときは、ドライブや買い物と一緒にいって、一週間の疲れをリフレッシュできます。

**美里さん** 「楽しい」とか「美味しい」とか思う感覚が同じで、相手に無理に合わせたり、我慢したりしないで自然な形で生活できることが幸せだなと思います。

## これからどう過ごしていきたいですか?

**将史さん** 子供はまだいませんが、2、3人は欲しいです。家族でキャンプなど、自然や季節を感じられるようなところへ出かけたいと思っています。

**美里さん** 私も、子供は3人くらい欲しいです。今の仕事にはやりがいを感じているので、子供ができて、仕事を続けていきたいと思っています。職場の先輩に子育てと家庭を両立している方がいらしゃるので、憧れますし、何か問題が発生したときは相談しようと思っています。

## 「晩婚化」「少子化」が進んでいますが、未婚の方へメッセージを

**将史さん** 私は、妻に出会う前は、漠然と30歳ぐらまでに、結婚できればいいかなと思っていました。たまたま同僚の紹介で妻と知り合い24歳で結婚しましたが、出会いを大切に、結婚して良かったと思っています。

**美里さん** 私の学生時代の友達でも、結婚していない人が多いので、晩婚化の傾向は感じています。ただ、私の周りでは、結婚に興味のない人は少なく、結婚はしたいけど、相手に巡り会えないという人が多いような気がします。普段の生活では、なかなか出会いがないというのは私も実感していたので、知り合いに紹介してもらったり、街コン等に参加してみるのも良いのかなと思います。

地橋 保男さん(73歳)、笑子さん(68歳)



元新聞社勤務のご主人と、50歳から介護ヘルパーの仕事をはじめたという奥さま。定年後の今は、お二人ともさまざまなボランティア活動を通して地域に貢献しています。長女、長男は結婚し、現在は2人暮らし。

## 結婚したのはいつですか?

**保男さん** 今から44年前。私が28歳、妻が23歳のときでした。

## 結婚に至るまでのエピソードを教えてください

**保男さん** 当時、妻と私の弟が職場の同僚でした。紹介してもらったときに、ピピピと来たというか、なんとなく「この人と結婚するだろう」と思いました。

**笑子さん** 私たちは、付き合い始めて1年で結婚したのですが、実は結婚を決めたのは、別のカップルが式場をキャンセルしたことがきっかけでした。結婚を考えてはいましたが、「あの式場でキャンセルが出たから、君たちが式を挙げてはどうか」と上司に言われて、半年ほどで急いで準備を整えました。当時は、社内結婚やお見合い結婚が多く、周りも付き合って1年ほどで結婚していました。

## 結婚後の暮らしについて

**笑子さん** 結婚後は、夫の両親と末の弟の5人で暮らしていましたが、出産を機に夫婦で家を出て、私は仕事を辞め育児に専念しました。長男が2歳になったころ、実妹の美容院を手伝う形で再び働き始めました。夫の両親が共働きで、夫は2人の弟の世話をしてきたこともあって、家事をすることに抵抗がなく、なんでも協力してくれました。

**保男さん** 洗濯をしたり、時々食事を作ったりしましたが、それはごく当たり前のことでした。

**笑子さん** おかげで、私も頑張って仕事ができ、いろいろな勉強をする時間もできたのだと感謝しています。

## 結婚して良かったと思うことは?

**保男さん** 精神的に満たされていることではないでしょうか。妻や子どもと支え合っていること。いろいろな出来事が積み重なり、ふり返ると幸せだと思えることです。

**笑子さん** やはり支えがあることです。主人は発想が柔軟で的確な判断してくれるので、頼りにしています。ボランティア活動での問題や悩みを共有し、意見を求めることもあります。

## 「晩婚化」「少子化」が進んでいますが、未婚の方へメッセージを

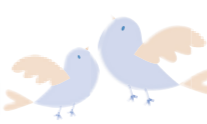
**笑子さん** 若い時に結婚した方が、苦勞を乗り越えられるのではないかと思います。長女、長男とも24歳で結婚しましたが、子どもたちには、早いうちから、いわゆる適齢期での結婚を勧めてきました。

**保男さん** 結婚はいいものです。結婚したら、お互いを思って、どこかで折り合いをつけなければいけないこともあります。でも、やってみないとわからないところが結婚のいいところでもあります。きっと、人生の楽しいこと、新たにやってみたくいことが見つかると思います。昔は、結婚が目的というところがありました。今は違いますが、私には、今の若い人たちは結婚できない理由を探しているようにも見えます。金銭的なことを心配する人もいるようですが、資金だってどうにかになります。何ごとも、「どうにかなるさ」と柔軟に過ごしてみてもいいのではないでしょうか。

## これから二人でしてみたいことは?

**保男さん** 二人とも元気で、ピンピンコロリが理想です(笑)。

**笑子さん** ケンカもしますが、好きなことをさせてもらっているのもいいですね。元気なうちは、2人でボランティア活動を続けていきたいですね。



「並んで歩く」ということ。



# 男女共同参画とやま 市民フェスティバル 2013

入場無料

事前申込不要

(当日先着300名)

平成25年 11月10日(日) 富山市民プラザ 4階アンサンブルホール

午後1時30分～4時10分(開場:午後1時)

開会

男女共同参画社会づくり作文コンクール表彰

講演

講師: 倉田 真由美さん(漫画家)

「くらたま流 婚活～その人と結婚するために～」

フォト&メッセージギャラリー

“ナイスカップル”な写真と大切な誰かへのメッセージをステージ上スクリーンで紹介します。

ミニライブ

noricoさん(シンガーソングライター、産婦人科医)

「norico トーク&ライブ」

[主催・お問い合わせ先]

富山市 男女参画・ボランティア課 富山市新桜町7-38 TEL (076) 443-2051 FAX (076) 443-2176



交通アクセス



【会場】富山市民プラザ  
〒930-0084 富山市大手町6-14  
●JR富山駅より徒歩15分  
●セントラム「大手モール」下車すぐ  
●地鉄/バス「総曲輪」または「城址公園前」  
下車徒歩3分

【自家用車をご利用の方へ】  
駐車場に限りがあります(有料)。  
公共交通機関をご利用ください。



長年連れ添ったご夫婦への取材では、お互いを支え合う睦まじい様子に、「結婚は素敵なもの」と幸せな気持ちになりました。この気持ちが記事から伝わればと願います。(Y.K)

20代前半の自分にとって、「結婚」とは遠いようで近いテーマ。今回座談会を通じて、若い皆さんのポジティブな意見をたくさん吸収させて頂きました。私もいつか素敵な結婚が出来ますように…。(H.H)

SNSが台頭している現代ですが、20～30代の方々が人とのつながりを大切に、将来の結婚や仕事に対しても真剣に考えている姿が印象的で、うれしく思いました。(M.M)

この号の発行に際しまして、多くの方々にご協力いただき、ありがとうございました。

## あいのかぜ

“あいのかぜ”は、男女共同参画社会の実現に向けて、市民一人一人が男女共同参画社会に関する正しい理解と認識を深めることを目的に、公募市民3人からなる編集委員によって企画・編集された情報交流誌です。

編集・発行

富山市民生活部  
男女参画・ボランティア課

〒930-8510 富山市新桜町7-38  
Tel.076-443-2051 Fax.076-443-2176  
E-mail danjyo-volun@city.toyama.lg.jp

環境にやさしい「水なし印刷」を採用しています。

